

11ac対応 無線LAN子機

セットアップガイド ①

セットアップを開始する前に、必ず本紙の内容をお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

本紙を使用開始後も大切に保管しておいてください。

セットアップガイド①(本紙)には、以下のことを説明しています。

- 事前の準備(必ずお読みください)
- 各部の名称とはたらき
- ドライバーのインストール/アンインストール(Windows)
- 設定の流れ
- 無線LANルーターとの接続方法(Windows) など

セットアップガイド②には、以下のことを説明しています。

- ドライバーのインストール/アンインストール(Mac OS)
- 無線LANルーターとの接続方法(Mac OS)
- 無線LANをご使用になるにあたってのご注意
- 安全にお使いいただくために
- おまな仕様
- サポートサービスについて
- 保証について など

セットアップを始める前に
パッケージ内容を
ご確認ください。

- 製品本体.....1台
- ドライバーCD-ROM.....1枚
- セットアップガイド.....2枚

事前の準備(必ずお読みください)

- 接続先の無線LANルーターの設定情報をメモします。
- 無線LANルーターのSSIDと暗号化キーの情報をメモします。
 - 調べ方については、無線LANルーターの説明書などをご覧ください。
 - SSIDが2.4GHz、5GHzの両方がある場合は、5GHzに接続することをお勧めします。
 - SSIDや暗号化キーをメモした後は大切に保管してください。

2.4GHz または 5GHz	SSID	
	暗号化キー	

※暗号化キーは、パスワード、パスフレーズ、ネットワークキーなど、無線LANルーターのメーカーによって呼び名が異なります。

- エレコム製無線LANルーターをご使用の場合は、無線LANルーターに付属の「かんたんセットアップシート(設定情報シート)」でSSIDと暗号化キーを確認できます。

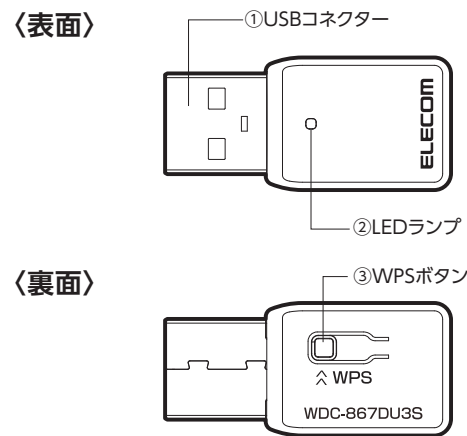
サポート情報のご案内

無線LAN子機に関する、サポートページです。ドライバーのダウンロードやインストール手順、その他お役に立つ情報を提供しています。本紙と合わせてご利用ください。



<http://www.elecom.co.jp/rd/elesup/037.html>

各部の名称とはたらき



番号	名称	はたらき
①	USBコネクタ	パソコンのUSBポートに接続します。
②	LEDランプ(青色)	点滅:無線LANルーターと接続中です。 または、アクセスポイントを検索中です。 消灯:無線LANルーターと未接続です。
③	WPSボタン	WPS機能を実行するときに押します。

注意

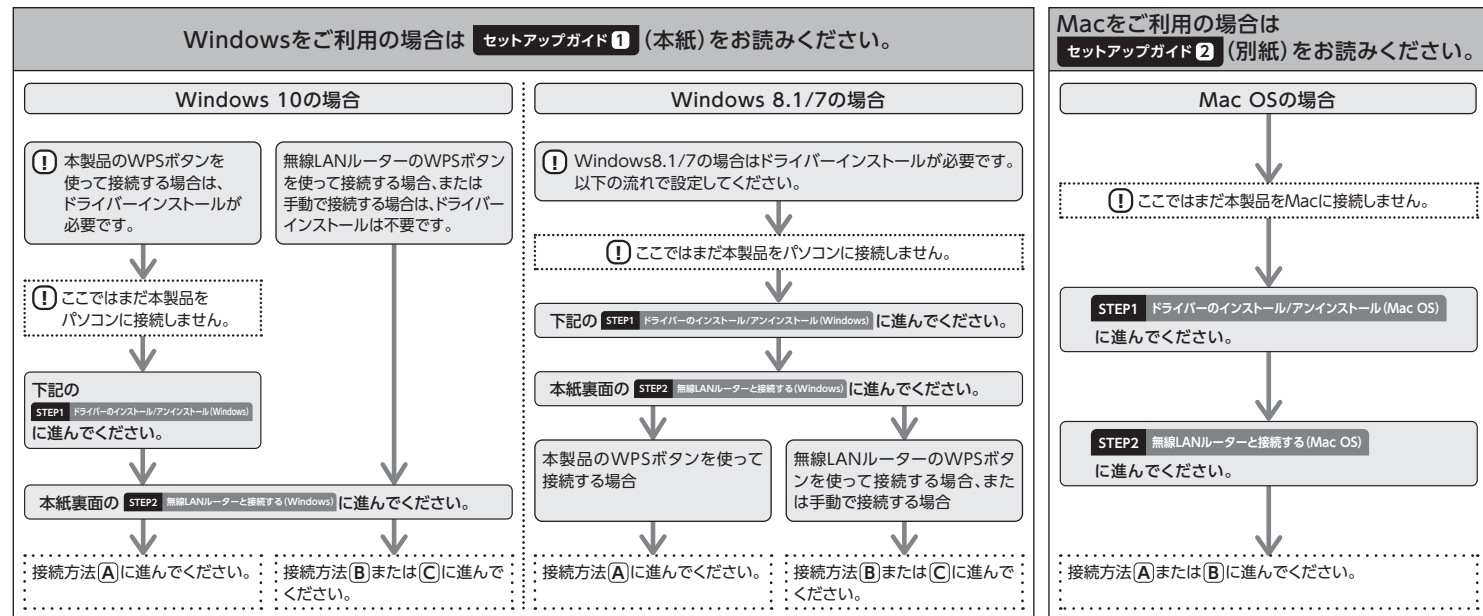
本製品を長時間利用すると高温になることがあります。長時間からだに触れていると低温やけどの恐れがあります。また、取り外しの際は無理せず、パソコンを終了し、しばらく経ってから取り外してください。

設定の流れ

※最新のOS対応情報はQRコードよりご確認ください。



お使いのパソコンやMacのOSを選んで進んでください。



STEP1 ドライバーのインストール/アンインストール(Windows)

インストール

❗ここではまだ本製品をパソコンに接続しません。

❗インストールを始める前に

・インストール作業は管理者権限(administratorなど)で行ってください。ユーザーアカウントの権限は[スタート]→[コントロールパネル]→[ユーザーアカウントの家族のための安全設定]または[ユーザーアカウント]で確認できます。

① どちらかの方法でドライバーをインストールします。

Webダウンロードからインストール

ダウンロードした[WDC-867DU3S_Win_xxx.zip](xxxは数字)をダブルクリックして解凍します。解凍後、フォルダー内にある[setup.exe]をダブルクリックすると、インストールを開始します。
※ドライバーのダウンロードは「ドライバーダウンロードページのご案内」をお読みください。

ドライバーCD-ROMからのインストール

アプリケーションが何も実行されていないことを確認し、付属のCD-ROMをドライブにセットします。しばらくすると、「自動再生」画面が表示されますので、「setup.exeの実行」をクリックすると、インストールを開始します。しばらく待ってもセットアップメニューが表示されない場合は、Windows 8.1の場合:[Windowsマーク]を右クリックし[エクスプローラー]を起動して、[CD-ROM]→[setup(.exe)]の順にダブルクリックしてください。Windows 7の場合:[スタート]→[コンピューター]→[CD-ROM]→[setup(.exe)]の順にダブルクリックしてください。
※ユーザーアカウント制御が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

② インストールウィザードが起動し、インストールを実行します。しばらくすると、インストール完了画面が表示されますので、「完了」をクリックします。



以上で、ドライバーのインストールは完了です。

裏面のSTEP2 無線LANルーターと接続する(Windows)に進んでください。

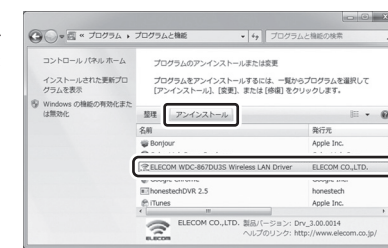
アンインストール

※Windows 10をドライバレスでご利用いただいている場合は、アンインストール作業は不要です。

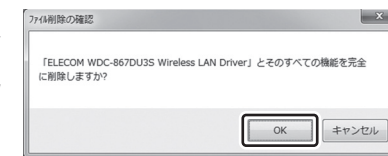
本製品の使用をやめる場合などで、ドライバーをアンインストールするには、次の手順で行ってください。

- 本製品を取り外します。
- [スタート]→[コントロールパネル]→[プログラムのアンインストール]を選択します。
- [ELECOM WDC-867DU3S Wireless LAN Driver]を選択して、[アンインストール]をクリックします。

※「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合があります。その場合は、「はい」または「続行」をクリックしてください。



④ 確認画面が表示されますので、「はい」または「OK」をクリックします。



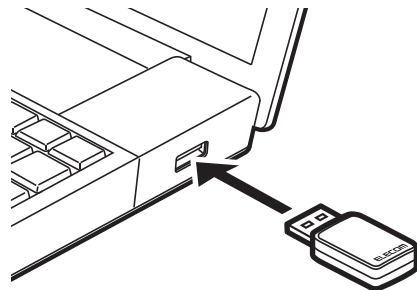
⑤ アンインストール完了画面が表示されますので、「完了」をクリックします。



以上で、ドライバーのアンインストールは完了です。

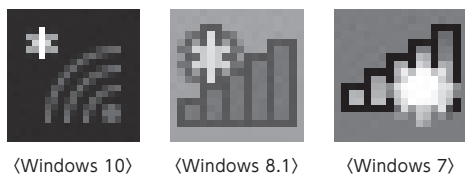
STEP2 無線LANルーターと接続する (Windows)

- 本製品をパソコンのUSBポートに差し込みます。
・自動的にセットアップが始まります。



・セットアップが完了すると、デスクトップ画面右下のタスクバー(タスクトレイ)に下記のアイコンが表示されます。

① パソコンによっては再起動を促されますが、アイコンが表示されることを確認するまでは再起動しないでください。



(Windows 10) (Windows 8.1) (Windows 7)

※タスクトレイにアイコンが見つからない場合は、▲(隠れているインジケータ)を表示し、クリックして開いてみてください。
※ご使用の環境によってアイコンに×マークが表示されることがあります。

- ご利用の環境に合わせて、いずれかの接続方法をお選びいただき、本製品と無線LANルーターを接続してください。

- A** 本製品と無線LANルーターのWPSボタンを使って接続する場合
- B** 無線LANルーターのWPSボタンを使って接続する場合
- C** 手動で接続する場合

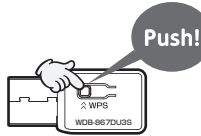
A 本製品と無線LANルーターのWPSボタンを使って接続する場合

※Windows 10をご使用の場合でもドライバーインストールが必要です。

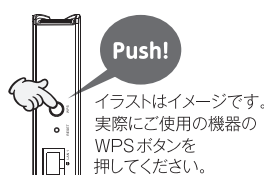
① 無線LANルーターが5GHz・2.4GHzのデュアルバンド対応の場合

・デュアルバンド対応の無線LANルーターでWPS接続をする場合、本製品のユーティリティが無線LANルーター側からのWPS信号を受信するタイミングによって、目的のSSIDとWPS接続できない場合があります。このような場合は、お使いのパソコンOSの「**B** 無線LANルーターのWPSボタンを使って接続する場合」または「**C** 手動で接続する場合」をお読みになり、接続するSSIDを選択したうえで、手動での接続を行ってください。

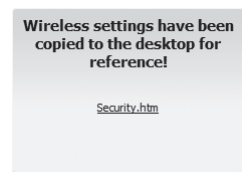
- ① 本製品の裏側にあるWPSボタンを約2秒間押します。



- ② 下記の画面が表示されたら、無線LANルーターのWPSボタンを押します。



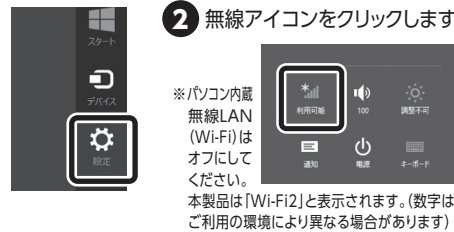
- ③ 右の画面が表示されたら、接続完了です。



以上で、設定は完了です。

Windows 8.1の場合

- ① 右下にカーソルを移動してチャームを表示し、[設定]をクリックします。
- ② 無線アイコンをクリックします。

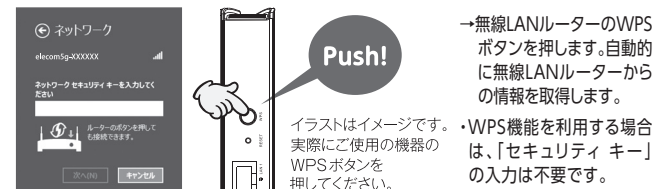


- ③ 一覧から接続先のSSIDをクリックします。
- ④ [接続]をクリックします。



- ⑤ 表示された画面の内容に合わせて、作業を進めます。

B 無線LANルーターのWPSボタンを使って接続する場合



以上で、設定は完了です。

無線LANルーターがWPS機能に対応している場合でも、相性等の問題でWPS機能が使えず**C**の画面が表示されることがあります。この場合は、**C**の説明をお読みください。

C 手動で接続する場合

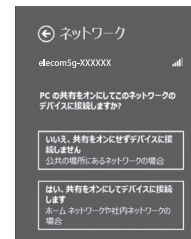
→無線LANルーターに設定された暗号化キーを入力し、[次へ]をクリックします。

- ・暗号化キーは、パスワード、パスフレーズ等、無線LANルーターのメーカーや機種によって名称が異なります。
- ・●●●●●●をクリックすると暗号化キーの文字を確認できます。
- ・エレコム製無線LANルーターをご使用の場合は、無線LANルーターに付属の「かんたんセットアップシート(設定情報シート)」で暗号化キーを確認できます。



- ⑥ 共有機能をオンにするか決めます。該当する方をクリックします。

・パソコン間でデータを共有する場合は「はい、共有をオンにしてデバイスに接続します」を選択します。共有しない場合は「いいえ、共有をオンにせずデバイスに接続しません」を選択します。



- ⑦ 正常に無線LAN (Wi-Fi) 接続およびインターネットに接続できると、「接続済み」と表示されます。

・インターネットに接続できない環境では、「制限あり」と表示されます。



以上で、設定は完了です。

Windows 10の場合

- ① 画面右下のタスクトレイにある無線LANアイコンをクリックし、接続先一覧を表示します。

※パソコン内蔵無線LAN (Wi-Fi) はオフにしてください。本製品は「Wi-Fi2」と表示されます。(数字はご利用の環境により異なる場合があります)

- ② 一覧から接続先のSSIDをクリックします。



※表示されるSSIDの名称や数は、ご使用の環境によって異なります。

- ③ [接続]をクリックします。



- ④ 表示された画面の内容に合わせて、作業を進めます。

B 無線LANルーターのWPSボタンを使って接続する場合

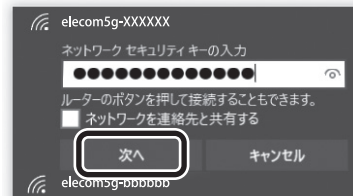


→無線LANルーターのWPSボタンを押します。自動的に無線LANからの情報を取得します。
・WPS機能を利用する場合は、「セキュリティ キー」の入力は不要です。

以上で、設定は完了です。

無線LANルーターがWPS機能に対応している場合でも、相性等の問題でWPS機能が使えず**C**の画面が表示されることがあります。この場合は、**C**の説明をお読みください。

C 手動で接続する場合



→「セキュリティ キー」に無線LANルーターに設定された暗号化キーを入力し、[次へ]をクリックします。

- ・暗号化キーは、パスワード、パスフレーズ等、無線LANルーターのメーカーや機種によって名称が異なります。
- ・エレコム製無線LANルーターをご使用の場合は、無線LANルーターに付属の「かんたんセットアップシート(設定情報シート)」で暗号化キーを確認できます。

- ⑤ タスクトレイの無線LANアイコンをクリックし、接続先のSSIDに「接続済み」と表示されていることを確認します。



以上で、設定は完了です。

Windows 7の場合

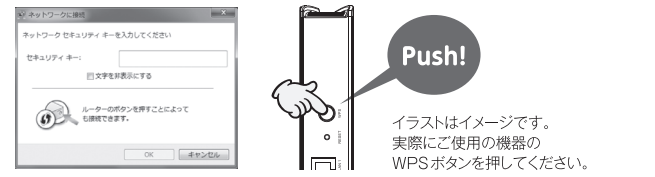
※事前に内蔵無線LANをオフにしてください。「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークの状態とタスクの表示」→「アダプターの設定の変更」→「ワイヤレスネットワーク」を右クリックして「無効にする」をクリックします。

- ① 画面右下のタスクトレイにある無線LANアイコンをクリックし、接続先一覧を表示します。
- ② 一覧から接続先のSSIDをクリックします。



- ④ 表示された画面の内容に合わせて、作業を進めます。

B 無線LANルーターのWPSボタンを使って接続する場合



→無線LANルーターのWPSボタンを押します。自動的に無線LANルーターからの情報を取得します。
・WPS機能を利用する場合、「セキュリティ キー」の入力は不要です。

以上で、設定は完了です。

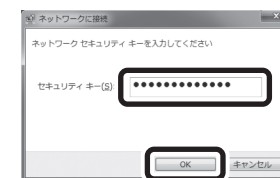
無線LANルーターがWPS機能に対応している場合でも、相性等の問題でWPS機能が使えず**C**の画面が表示されることがあります。この場合は、**C**の説明をお読みください。

- ① 「ネットワークの場所の設定」画面が表示された場合は、ご使用のネットワーク環境に合わせて設定してください。

C 手動で接続する場合

→「セキュリティ キー」に無線LANルーターに設定された暗号化キーを入力し、[OK]をクリックします。

- ・暗号化キーは、パスワード、パスフレーズ等、無線LANルーターのメーカーや機種によって名称が異なります。
- ・エレコム製無線LANルーターをご使用の場合は、無線LANルーターに付属の「かんたんセットアップシート(設定情報シート)」で暗号化キーを確認できます。



- ① PINコードの入力画面が表示された場合 右の画面が表示された場合は、[代わりにセキュリティ キーを使用して接続]をクリックし、暗号化キーを使用してください。



- ⑤ タスクトレイの無線LANアイコンをクリックし、接続先のSSIDに「接続」と表示されていることを確認します。



以上で、設定は完了です。